

(42) にら
(ア) 病害

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項																		
白斑葉枯病	<p>薬剤防除</p> <p>1. 茎葉散布</p> <p>(1) 養成期(収穫1年目)における発病度が25を超えないように管理する。</p> <p>(2) 道南地方における要防除期間は、6月下旬から10月上旬である。なお、10月上旬(最終散布)には下記の薬剤のうち残効期間が2週間の薬剤を散布する。</p> <p>****養成期における薬剤散布体系****</p> <p>下記の薬剤を残効期間に応じ、1～2週間間隔でローテーション散布する。</p> <p style="text-align: center;">表 ニラ白斑葉枯病に対する残効期間</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬 剤 名</th> <th style="text-align: center;">希 釈 倍 率</th> <th style="text-align: center;">残 効 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フルジオキシニル水和剤フロアブル</td> <td style="text-align: center;">2,000 倍</td> <td style="text-align: center;">2 週間</td> </tr> <tr> <td>クレソキシムメチル水和剤フロアブル</td> <td style="text-align: center;">3,000 倍</td> <td style="text-align: center;">2 週間</td> </tr> <tr> <td>アゾキシストロビン水和剤フロアブル</td> <td style="text-align: center;">2,000 倍</td> <td style="text-align: center;">2 週間</td> </tr> <tr> <td>ポリオキシシン複合体水溶剤</td> <td style="text-align: center;">1,500 倍</td> <td style="text-align: center;">1 週間</td> </tr> <tr> <td>バチルス ズブチリス水和剤</td> <td style="text-align: center;">2,000 倍</td> <td style="text-align: center;">1 週間</td> </tr> </tbody> </table>	薬 剤 名	希 釈 倍 率	残 効 期 間	フルジオキシニル水和剤フロアブル	2,000 倍	2 週間	クレソキシムメチル水和剤フロアブル	3,000 倍	2 週間	アゾキシストロビン水和剤フロアブル	2,000 倍	2 週間	ポリオキシシン複合体水溶剤	1,500 倍	1 週間	バチルス ズブチリス水和剤	2,000 倍	1 週間
薬 剤 名	希 釈 倍 率	残 効 期 間																	
フルジオキシニル水和剤フロアブル	2,000 倍	2 週間																	
クレソキシムメチル水和剤フロアブル	3,000 倍	2 週間																	
アゾキシストロビン水和剤フロアブル	2,000 倍	2 週間																	
ポリオキシシン複合体水溶剤	1,500 倍	1 週間																	
バチルス ズブチリス水和剤	2,000 倍	1 週間																	

(イ) クリーン農業技術(病害虫防除関係分)(にら)

○薬剤の防除効果・残効を考慮した効率的な薬剤散布

- ・アゾキシストロビン水和剤フロアブル、クレソキシムメチル水和剤フロアブル及びフルジオキシニル水和剤フロアブルの残効期間の3剤は防除価80以上の高い防除効果を示し残効期間は2週間である。ポリオキシシン複合体水溶剤は防除価60～80であり、残効期間は1週間である。これらの残効期間を考慮してローテーション散布する。
- ・道南の知内町における要防除期間は6月下旬～10月上旬であり、8～9月の葉の損傷が翌年の収量に対する影響が最も大きい。

○生物的防除

- ・生物農薬(バチルス・ズブチリス剤)は、白斑葉枯病に対して防除効果を示す。その効果は化学合成農薬より劣り防除価40～60であり、残効期間は1週間である。